

令和7年度 秋保かがやき支援学校の研究概要 ～令和8年1月末現在～

運営委員氏名 (森 由美子)

研究テーマ	一貫性・系統性のある指導の在り方 ～年間指導計画を踏まえたつながりのある授業実践をとおして～
研究目標	<ul style="list-style-type: none"> 各学部間の系統性・整合性を重視した教育実践の積み上げを図りながら、教職員間での教育課程の理解を深める。 職員の研修体制や学習指導における指導計画等の整備に関する校内研究を組織的、計画的に推進する。
研究内容・方法 研究計画等	<p>5月29日 : 研究全体会①(今年度の研究についての確認) 校内研修会①「日常の授業づくりのために」</p> <p>6月 5日 : 学校訪問指導①(校内研修会②)「系統性を意識した授業計画作り」</p> <p>6月以降 : 学習指導計画の作成(修正)</p> <p>9月24日 : 学校訪問指導②(学習のつながりに関するグループワーク)</p> <p>1月27日 : 学校訪問指導③(今年度の研究についての報告、指導講評)</p> <p>3月 4日 : 研究全体会②(次年度の研究の方向性についての提案)</p> <p>6月～12月 : 研究日(全10回) (学習指導計画の書き方確認、学部学科説明会、特定教科におけるつながりに関するグループワーク、教科ごとの系統性チェック等)</p>
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	<p>学年、学部間で指導の一貫性、系統性を踏まえた授業づくりを目指し、3年計画の2年目として、特別支援学校学習指導要領や年間指導計画に沿って前後の学年の学習のつながりを踏まえた授業実践を行っている。</p> <p>今年度は昨年度に続き、目標や評価規準、授業の概要等を明確にするための学習指導計画を作成(昨年度のものは修正)し、授業実践を行った。また作成(修正)の際は、昨年度実施した学習指導計画データを参考に計画、実践するようにした。実践後は次年度に向けた指導に対する成果や課題、改善策の記入に加え、つながりについても書き込むようにし、各学習のつながりが意識できるようにした。また、授業づくりについての研修会開催や、研究推進をより円滑に行うための研究日を定期的に設け、学校全体で研究を行っていただける体制を整えた。これ以外にも教務部と連携し、特定の教科について全学部、学科の学習の一貫性や系統性を確認する活動を併せて行った。</p> <p>研究を推進していく中で、各教員が学習指導要領や過去に作成された学習指導計画を自ら確認しながら、授業を計画、実践する姿が多く見られた。12月の研究アンケートでは、学習指導要領を読む機会が増えた、学習指導要領の理解がより深まったという回答が全体の8割を占めており、学校全体が同じ視点の中で児童生徒の指導や評価を行うことができるようになってきている。また昨年度末と今年度12月に行った2回のアンケートで「研究主題、副題を意識して指導できているか」について確認したところ、意識してできていたという割合が前年度より増加した。この点から、多くの教員が一貫性・系統性を意識しながら日々の指導に当たっていることが分かった。</p> <p>次年度は3年計画の最終年となるため、全教員がこれまでに作成してきた学習指導計画を整備し、学年間、学部間の指導の一貫性や系統性を図りながら自動生徒と向き合って指導することができるようにしていきたい。その指導を行う中で、児童生徒が自分らしく輝き続け、充実した生活を送るための様々な能力を高められるようにしていきたい。</p>

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。